

国道16号千葉柏道路 に関する要望書

令和元年8月

千葉東葛間広域幹線道路
建設促進期成同盟会

国道16号千葉柏道路に関する要望書

広域幹線道路は、都市間相互を連絡し、生活や経済活動等あらゆる社会活動を支える重要な施設であり、地震などの災害発生時においても救援救護活動、緊急物資の輸送など重要な役割を担うものであります。

国道16号は、千葉市から東葛飾北部地域にかけての唯一の広域幹線道路であり、首都圏の環状道路として位置付けられています。

当該国道は上下線合わせて4車線で整備されておりますが、直近の道路交通センサスでは、柏市大青田における交通量は12時間で3万台を超え、大型車混入率は約40%となっており、地域を通過する物流車両等の大型車混入率が高くなっています。

このような状況の中、平成30年10月の民間プローブデータによると、野田市柳沢から野田市駅入口交差点までの区間、柏市大青田付近から大島田交差点までの区間、千葉市横戸交差点から東関東自動車道千葉北インターチェンジ付近、更には京葉道路穴川インターチェンジ付近までの区間で交通渋滞が慢性化しております。

また、平成31年4月に国土交通省から公表された「直轄国道の交通状況ランキング（平成30年）」における路線別の渋滞ランキング〈年間合計〉では直轄国道1号～20号の区間毎の渋滞損失時間等が集計されており、全体の第一位が国道16号における千葉県千葉市（長沼交差点～穴川インター交差点）、第二位が千葉県柏市（若柴交差点～呼塚交差点）となっております。

快適な生活空間の創造や活力ある地域づくりのためには、千葉市から東葛飾北部地域にかけての国道16号の交通対策は緊急の課題であり、国土強靱化、地方創生を実現するためにも、地元市はもとより沿線住民も国道16号千葉柏道路の早期実現に強い期待を寄せております。

国道16号千葉柏道路が実現した際には、沿線住民の利便性・快適性が向上することはもとより、輸送時間の短縮により企業活動が効率化します。また、成田空港とのアクセスが強化されることで千葉県北西部の観光の活性化が図られ、当該地区の社会資本が機能することでストック効果が見込まれま

す。このほか、交通渋滞が緩和されることで、迅速な救急医療活動へ寄与するとともに、交通事故の減少及び路線バスの定時性向上なども大いに期待されます。

現在、国及び千葉県、茨城県内の各自治体で構成される千葉柏道路検討会において、利根川沿いルート案が渋滞解消策として有効であるとの評価が公表され、計画の実現に向けた継続的な検討が進められており、今後、更なる調査推進を図り、早期事業化に取り組んでいただけるものと期待しております。

つきましては、国道16号千葉柏道路の重要性を理解いただき、次の事項について特段の御配慮をお願いいたします。

- 1 国道16号千葉柏道路の早期事業化を目指し、調査の推進と都市計画決定等の所要の手続きを進めること。
- 1 国道16号の渋滞要因を分析し、短期的な対策について検討すること。
- 1 上記施策を推進するため、令和2年度は、当初予算において道路予算全体を増額し、必要な予算を確保するとともに、長期安定的に道路整備・管理が進められるよう、新たな財源を創設すること。

また、予防保全を含む道路の老朽化対策について、必要な予算を別枠で確保すること。

令和元年8月2日

千葉東葛間広域幹線道路建設促進期成同盟会

会 長	柏市長	秋山	浩保
副会長	印西市長	板倉	正直
理 事	千葉市長	熊谷	俊人
理 事	船橋市長	松戸	徹
理 事	野田市長	鈴木	有
理 事	白井市長	笠井	喜久雄
監 事	八千代市長	服部	友則
監 事	我孫子市長	星野	順一郎
会 員	佐倉市長	西田	三十五
会 員	流山市長	井崎	義治
会 員	鎌ヶ谷市長	清水	聖士
会 員	四街道市長	佐渡	齊